

自己託送の活用について

1 取組の概要

清掃一組は令和元年度から自己託送制度を活用しており、清掃一組内で発電した電力を別の施設に供給することで「電力の地産地消」が可能となるほか、需要施設における電気料金及び二酸化炭素排出量の削減効果があります（図1）。

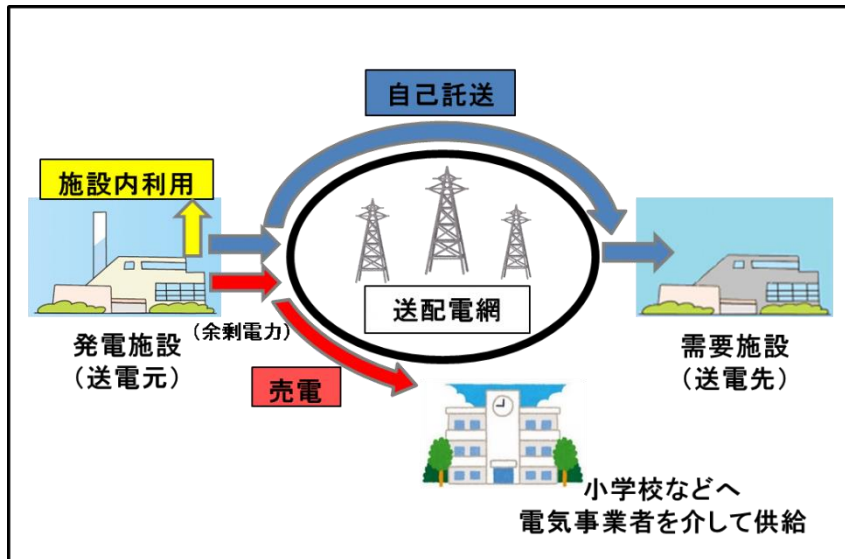


図1 自己託送の活用イメージ

2 取組内容

令和4年度は需要施設（送電先）を2施設追加して4施設とし、需要施設で使用する電力を全量供給することで財政面及び環境面での効果が期待できます。

表1 自己託送関連施設一覧（令和4年度）

発電施設（送電元）		需要施設（送電先）
新江東清掃工場	中央清掃工場	中防処理施設管理事務所
港清掃工場	品川清掃工場	京浜島不燃ごみ処理センター
北清掃工場	大田清掃工場	有明清掃工場（新規）
千歳清掃工場	葛飾清掃工場	有明清掃工場サブステーション（新規）

以上

問い合わせ先
施設管理部技術課
03-6238-0775